ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・6月号・付録
2012年6月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL (03)5379-5521/FAX (03)5379-5510
ホームページ http://www.houkon.jp/
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・橋本 隆

第49回ギャラクシー賞 入賞作が決定!

4月理事会報告

4月26日、4月理事会を開催した。
1. 委員会活動報告

◇選奨事業委員会 小田桐委員長
改革小委員会が5月15日、総会前に答申を作成する。5月の理事会で報告したい。
(テレビ部門) 上滝委員長

49回の参加本数は283本で過去最高。放送界の危機の裏返しとも感じる。委員の負担が凄まじいものになるが、人数を増やすとスペースの関係で事務局で委員会が出来なくなる。特別賞はE.T.V特集「ネットワークでつくる放射能汚染地図」シリーズ。放送界にとつて難しい問題に取り組んだ。個人賞は作品の評価もあり小泉今日子さんに。

(ラジオ部門) 桜井委員長
参加本数は下期25本で上期39本か

薦があった。↓活発な議論があったが、選奨事業委員会及び委員長としての特別賞は作らないことになった。
◇出版編集委員会 飯田副委員長
7月号、「THE PERSON」は番組リサーチャーの喜多あおいさん、表紙と「句の顔」は井浦新さん。今号は連載以外全てギャラクシー賞の発表にページを使い、選奨コメントを長くした。
◇企画事業委員会 藤田委員長
特に活動はなし。
◇マイベストTVプロジェクト
滝野プロジェクトリーダー
ヤフーのGyaOストアと協力し、年間グランプリの投票が始まった。放懇Web会員はもちろん、ヤフーIDを持っている人も投票できるように。初めてプレスリリースを出した。
2. その他 橋本専務理事
①退会
五木寛之さん、島野功緒さん、茅野臣平さん、望月真理子さん
②特定資産等取扱規程の件
2008年7月に前理事長の志賀さんから寄付があり、志賀基金という名で預金。来年、50周年の活動をするにあたり通常予算では賄えず、常務理事会で志賀基金を使いたいとの提議をし、了承を得た。

河野利明税理士と相談し「特定資産等取扱規程(案)」を作成。(資料を配布)細則第2条で「本会の周年事業、記念事業および、『ギャラクシー賞入賞作品を見て聴いて、制作者と語る会』に限定して使用する。」と規定した。「語る会」は放懇主催として資金援助をしながら、今までの精神を尊び積極的に実施したい。6月の総会後に各部門の新しい委員長と実施要領案を作成、理事会に提案し、実施は来年からにしたい。税理士からは志賀基金は収益事業には使えない、また、通常予算には組み入れられないと聞いている。この案について了承をいただきたい。
↓了承
③第49回贈賞式関連
贈賞式は6月4日16時30分から。
記者会見は5月21日。
④トロフィー刷新進捗状況
松永真デザイン事務所と高岡銅器の間で調整中。
⑤その他
(川喜田理事) テレビ部門「制作者と語る会」、「ダーウィンが来た!生きもの新伝説」アリュウシヤン クジラと海鳥世界一の大集結」をNHK放送技術研究所講堂で6月2日に開催することで詰めている。

ら減少。年間64本はここ数年で最も多い。下期ではワイド部門Iの応募が少なかった。ラジオが注目された年だったが、下期で11本が震災関連。進行中であるので迷いが感じられる作品が多かった。震災関連の入賞は1本のみ。DJパソナリテイ賞は、若いリスナーの巻き込み力を評価し、ニッポン放送の吉田尚記アナ。合評会では、中京地区の早朝ワイドを試聴した。
(CM部門) 五井委員長
参加本数は通年で255本。昨年比若干のマイナス。上期より下期の選考に時間がかかった。入賞には震災関係が多い。特別賞は「三陸に仕事を!プロジェクト委員会」の「浜のミサンガ『環』岩手・宮城誕生篇」で、申込は岩手めんこいテレビ。広告表現と活動内容、全

◇次回以降の理事会日程
5月 5月24日(木)
6月 6月16日(土) ※総会も同日開催
【出席】音好宏、橋本隆、上滝徹也、小田桐誠、藤田真文、桜井聖子、五井千鶴子、滝野俊一、飯田みか、石井彰、入江たのし、川喜田尚、坂本衛、嶋田親一、稗田政憲、山田健太、中島好登

会議記録

26日	
25日	
23日	
22日	
21日	
20日	
19日	
17日	
16日	
12日	
2日	

〔4月〕……………

(選奨) テレビ月評会
ギャラクシー賞改革小委員会
(選奨) ミオ「音楽をエンタテインメントワイド」選考
(選奨) ラジオ「ドラマ・ドキュメンタリー」選考会
出版編集委員会
(選奨) CM選考会
(選奨) 報道活動選考会
(選奨) テレビ月評会
(選奨) テレビ選考会
(選奨) ラジオ最終選考会
(選奨) ラジオ定例会
理事会

体のキャンペーンを評価した。
(報道活動部門) 小田桐委員
参加本数は上期6本。下期の本数が少なかったら賞の価値があるのか心配したが、16本の参加があったのでトータル22本になった。前年比では1本増。下期では圧倒的に震災関係が多い。濃密なものが多かった。上期からの入賞は1本のみ。応募のために編集やナレーション付けをした参加もあり、少しずつだが「報道活動部門」が定着してきたと感じる。
(志賀信夫賞) 音選考委員長
東北新社の最高顧問である植村伴次郎さんに決定。快諾をいただいている。
(特別賞について)
小田桐選奨事業委員長
昨年3・4月の理事会で、震災関連で特別賞を選出するか各部門で議論するとの確認があった。直後の第48回では持ち越しとなった。各部門で議論、検討していただきたい。特別賞を設けたのはCM部門のみであった。選奨事業委員会ないしは選奨事業委員長として特別賞を作ってはどうかとの提案と推